

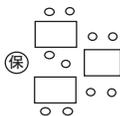
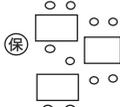
(部分)責任実習 指導計画

実習指導者

印

実習生氏名

印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	保育室
主な活動 (題材)	手作りおもちゃで遊ぶ (マイ・カーをつくろう)		実習 クラス (5)歳児 (ヒヤシンス)組 男児(4)名 女児(6)名 計(10)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで工夫して遊ぶ様子が見られる。 工作など、立体物を作ることを楽しむ姿が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに工夫して表すことを楽しむ。 少し難易度の高い工作に挑戦することで、充実感を味わう。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
9:50 (導入)	準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅から持ってきた箱を準備して着席する。 ○体を保育者の方に向け、保育者の話を聞く。 ・自宅の車、あるいは街中で見かける消防車、救急車など乗り物について話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ段ボールを直径5cm程度の円型にくり抜いておき、中心にキリで穴を空けておく。人数×4 (タイヤの数)、少し余分に用意する。 ・共同用として、机の上に、マッキー、色鉛筆、ボンド、セロテープ、はさみを置く。 ・乗り物が登場する絵本などを例として挙げながら、イメージが湧くように話をする。 ・試作品を見せ、持ってきた箱を使って、好きな乗り物を作ることを伝える。
10:00 (主活動) ※サブシ ート参照		<ul style="list-style-type: none"> ○主活動を行う。 ・箱の裏側、前輪、後輪にあたる位置に、ストローをテープで留める。 ・ストローに竹串を通し、段ボールを刺す。 ・飛び出た竹串をテープで覆うようにして留める。 ○タイヤが回るか、動かして確認する。 ○印刷用紙に絵を描き、切って箱に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱を忘れた幼児には、用意しておいた箱を渡す。 ・一人ひとりに、タイヤ型段ボール (4枚)、ストロー (2本)、竹串 (2本) を渡す。 ・車輪の作り方を実演して見せる。 ・わからない幼児には、試作品を見せて作り方を説明する。
10:40		<ul style="list-style-type: none"> ○作品を持って、ホールへ移動する。 ○自由に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストローが外れた幼児にはセロテープで留めるなどし処置をする。
11:00 11:10		<ul style="list-style-type: none"> ○作品を持って、保育室へ戻る。 ○自分が使った道具の整理整頓、制作時にした紙切れなどのゴミの片づけをして着席する。 ○制作した作品を見せながら、工夫したところなどの話をする。 ・友達の話聞く。 ○作品を棚に片づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が発表した内容に共感をもち、良いところを褒める。
11:30 (まとめ)			
自己振り返り・評価等			